

勝ちとろう みんなの希望とその願い

2015春季生活闘争勝利 中央総決起集会



鹿児島地方本部は、3月19日(木)TKR P博多シテイセンターで開催された「2015春闘勝利中央総決起集会」に、上飯屋浩二地本執行副委員長を団長とする激励団10名で参加した。

総決起集会には、各地本から組合員100名が参加し会場は熱気に包まれた。

冒頭、本部を代表して許斐中央執行委員長が挨拶に立ち、ベースアップの実施に徹底的に拘り、実施されない限りは妥結しない覚悟で臨む強い決意を示した。

来賓の挨拶に続き、各地本代表が中央執行委員会に対し、今春闘に懸ける思いを訴えるとともに、本部・地本が共に闘い抜く決意とベースアップ獲得への檄を飛ばした。

鹿児島地本からは、高崎良太執行委員が代表して檄文を読み上げ、昨年に本部が示した次世代への「継承元年」とする位置づけの

もと、鹿児島地本が取り組んできた春闘バスツアーやJR採用役員セミナー、サマーフェスティバル等の開催について報告を行い、次世代への継承を図る取り組みは行っているものの、労働組合の主要柱である労働の対価を勝ち取るための賃金交渉において、JR採用者の多くがベースアップを勝ち取った経験がなく、取り分け昨年の春闘でベースアップを勝ち取れなかったことに對し、JR採用者の組合に対する不満と不信感は大きなものがあっただけに、「次世代育成のためには今春闘で何が何でもベースアップを勝ち取り、組合の存在意義を確固たるものにしなければならぬ」と訴えた。

また、株式上場を前に、ここ近年人件費削減に開始した効率化施策が進められ、安全を守るために職場で懸命に働く組合員からの「株式上場は私たちにどんなメリットがある



鹿児島地本の檄文を読み上げる

のですか」という切実な声とともに「こうし組合員の実態と声を正面に捉え、ベースアップがなければ株式上場はないのだ、JR九州労働組は基本理念である【協力と対立】を【対立】一本にかえる程の強い姿勢で取り組んでほしい。」と今春闘に懸ける思いを力強く訴え、最後に鹿児島地本も春闘署名や春闘勝利総決起交流会、檄文の作成等を取り組み共に闘っていることを示し、許斐中央執行委員長と握手を交わした。

その後、中原書記長

の情勢報告と決意表明、集会アピールの採択と続き、最後に小山本部青年・女性委員長の「勝ち取るぞ!三唱」で氣勢を上げた。

なお、鹿児島地本は、春闘勝利中央総決起集会参加にあたり、15時から地本会議室で激励団結団式を行った。

延時地本書記長の挨拶のあと、参加者が自己紹介を行い、それぞれの思いを述べた。その後、上飯屋地本副委員長より春闘を取り巻く状況と交渉経過について説明があり、最後に激励文の披露を高崎良太執行委員が行い、鹿児島を後にした。

【激励団】上飯屋浩二・延時勝敏・青木幹雄・高崎良太・中野みき・平川泰三・西本陽介・柳原小也華・宮田卓典・立川大地(敬称略)

2015春闘は、3月20日に妥結しました。妥結内容は春闘速報No.18をご参照ください。この間の組合員・家族のご協力に感謝申し上げます。